

小児看護学実習（2単位）

実習目的

小児期にある対象とその家族を理解し、あらゆる成長・発達段階、健康段階に応じた看護が実践できる基礎的能力を養う。

実習構成

実習名	単位数	対象学年	実習施設	
小児看護学実習	2単位 90時間	3年次	静岡済生会総合病院 N4病棟・NICU	1.2単位
			静岡済生会療育センター	0.4単位
			こども園・保育園 静岡市立登呂こども園 静岡市立富士見台こども園 なでしこ保育園	0.4単位

1. 実習目標

1) 実習目標

- (1) あらゆる発達段階や健康障害にある子どもとその家族を理解し、対象に必要な看護を考えることができる。
- (2) 障害を持ちながら生活する子どもの療育活動の実際を知り、チームアプローチの重要性と看護の役割がわかる。
- (3) 健康な乳幼児の成長発達の特徴を捉え、発達段階に応じたかかわり方がわかる。

2) 行動目標

【病棟】

- 1) 受持ち患児の発達段階に応じた身体的・精神的・社会的特徴を述べる。
- 2) 健康障害、入院が子どもと家族に与える影響を考える。
- 3) 受持ち患児と家族のニーズを捉え必要な援助を考える。
- 4) 受持ち患児と家族の状況に合わせた援助を行い、振り返る。

【NICU】

- 1) ハイリスク新生児と家族の看護の実際を理解する。

【療育センター】

- 1) 受持ち児童の状況に合った支援とチームアプローチの中の看護の役割を理解する。

【こども園・保育園】

- 1) 健康な乳幼児の成長発達の特徴を捉え、発達段階に応じたかかわり方について理解する。

【全体を通して】

- 1) 実習目標に沿った学習計画を立案し学習する。

- 2) 子ども・家族を尊重し、コミュニケーションの工夫をして良好な関係を形成する。
- 3) 子どもの権利を保障する小児看護の役割を考える。

2. 実習方法

【病棟】

- 1) 実習初日に病棟オリエンテーションを受ける。
- 2) 1～2名の患児を受持ち看護過程の展開を行う。
- 3) 小児看護に必要な技術を受持ち患者以外でも積極的に体験または見学する。
- 4) 実習2～3日目に中間カンファレンスを行う。
- 5) 実習終了日に終了カンファレンスを行う。

【NICU】

- 1) 看護師の指導のもと見学または体験学習を行う。
- 2) 実習終了時カンファレンスを行う。

【療育センター】

- 1) 実習初日に朝礼に参加し、自己紹介をする。
- 2) 児童を1名受持ち、施設の日課にそって実習する。
- 3) 実習終了日、カンファレンスを行う。

【こども園・保育園】

- 1) こども園・保育園で施設の概要や留意点についてオリエンテーションを受ける。
- 2) 配置されたクラスに入り、こども園・保育園の日課にそって実習する。
- 3) 実習終了日、反省会を行う。

【実習終了後のレポート】

- 1) テーマ：『小児看護学実習で学んだこと』
- 2) サブテーマをつける
- 3) A4サイズ横書き 400字詰め原稿用紙で5枚程度にまとめる。

3. 留意点

- 1) 実習初日に担当教員より全体オリエンテーションを受ける。
- 2) こども園・保育園実習前に検便検査を行い、感染症の有無を確認する。
- 3) 感染症に罹患した場合は、実習の継続について教員と指導者に相談し決定する。
- 4) こども園・保育園への移動は各自で行う。その際、公共交通機関以外の手段（バイク・自転車）を利用する学生は、必ず「使用届け」を事前に学校に提出する。
- 5) 反省会やカンファレンスは、学習体験の共有と疑問の解決をはかる。
- 6) 実習終了後に実習での学びをレポートにまとめる。